

大妻募金ニュース

Otsuma Donation Newsletter

第1号 発行日：2019年6月1日

はじめに

- 「大妻募金ニュース」は、本学にお寄せいただいた寄付に関するニュースをお届けします。6月と12月の年2回発行予定です。
- タイトル左の校章をモチーフにしたマークは、新しく始まった「大妻未来募金」のイメージマークです。大妻の輝く未来、伝統と革新の融合をグラデーションで表現しています。

1.募金ニュース発行に寄せて 伊藤正直大妻学院理事長



この度「大妻募金ニュース」を発刊いたしました。募金ニュースではいただいた寄付金の報告をはじめ、寄付に関するさまざまな情報を発信

していきます。

大妻学院は2018年に迎えた創立110周年を機に、本学院のこれからの展望を切り開くべ

く、新たな中期計画を策定しました。社会の要請に応えた教育機関として一層の発展を期しております。

本学院が目指す未来像の実現に教職員一丸となって取り組んでおりますが、事業を推進するにあたり多額の費用を要します。関係者の皆さまには財政面でのご支援を賜りたく、ご協力くださいますようお願いいたします。

2.新しい寄付制度が始まっています 「大妻未来募金」「古本募金」



新しい寄付金制度「大妻未来募金」が2019年4月から始まりました。

大妻未来募金は、大妻学院の使命「学び動き続ける自立自存の女性の育成」「女子教育に積極的な役割を果たす教育・研究活動」

「持続可能な共生社会の実現への貢献」を推進するための支援を目的としています。

大学、中高など設置校ごと、あるいは「キャリア」「国際交流」「課外・ボランティア活動」「地域連携」「施設・環境整備」「奨学金」など用途に応じてご寄付が可能です。また、1万円以上の寄付をお寄せいただいた場合は、本学卒業生が営むお店から提供いただいたオリジナル記念品を贈呈します。今年度は大妻嵐山／社会情報学部OGの佐藤麻里子さん、家政学部OGの辻まり子さん、中野校／短期大学家政科OGのいがらしろみさ

んに協力をいただいた日本酒、遠州綿糸を使った小物、ジャムなどです。

また、昨年度からは書籍類の売却額が全額本学への寄付金になる「大妻学院古本募金」もスタートしています。2019年4月30日現在の累計額は114,293円。いただいた寄付金は学生・生徒の学習、教育・研究の支援に役立てられます。ご自宅ではダンボール箱につめて申し込みをいただけます。5点以上であれば送料はかかりませんので、お手元に不要な資料がありましたらぜひご寄贈ください。



「大妻未来募金」「古本募金」の詳細はそれぞれのリーフレットあるいはホームページでご参照いただけます。リーフレットの郵送を希望される際は電話かメールでお気軽にお問い合わせください。

3.奨学生からの声（大妻学院石間奨学金）

有限会社石間企画様からの寄付金を原資として、2018年に「大妻学院石間奨学金」が設立されました。受給者第1号でこの3月に人間関係学部を卒業したAさんから喜びの声と社会人としての抱負が届きましたのでご紹介いたします。

石間奨学金は卒業後社会での活躍を期待される最終学年の大学生・短大生への援助を目的とした、返還義務のない給付奨学金です。

卒業後は、地元である栃木県の銀行に就職する予定です。先日、銀行員に必須である資格試験も受験し、本日、無事に合格致しました。4月からの社会人生活に不安はありますが、大妻女子大学の卒業生として、また、石間奨学金の奨学生として恥じないよう、一生懸命頑張りたいと思います。また、大学卒業まで、精神面でも金銭面でも支え続けてくれた母に感謝し、これからは私が母を支え、親孝行をしたいと思います。これからもまだまだ学ぶことがたくさんありますが、大学生活で身に付けた基礎を土台とし、日々努力を怠らず、精進して参ります。この度は、石間奨学金の奨学生として採用して頂きまして、誠にありがとうございました。

目次：

1	募金ニュース発行に寄せて (伊藤正直大妻学院理事長)
2	新しい寄付制度が始まっています 「大妻未来募金」 「古本募金」
3	奨学生からの声 (石間奨学金)
4	多額のご寄付をありがとうございました (創立110周年記念事業寄付金)

4.多額のご寄付をありがとうございました — 創立110周年記念事業寄付金

2018年に募集した創立110周年記念事業寄付金は皆さまのあたたかいご支援により、目標金額3,000万円を超え、3,478万110円に達しました。

頂戴した寄付金は、以下の記念事業実施費に充当させていただきました。同事業に対して、深い理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



No.	記念事業	参加者数	主催部局（学部）等
1	創立110周年記念プロジェクション・マッピング「KOTAKA」	-	
2	連続講演会「知舞い学躍る。大妻の空、大妻の夏。」	836	
3	大妻学院創立110周年記念Tボール大会（大妻杯）、2018 CHALLENGE WALKING～Aiming for a vibrant TAMU 5 campus!～、防災・炊き出し訓練	820	学院
4	110周年記念シンポジウム「世界の中の日本—これからの女子教育」ほか	146	
5	大妻学院創立110周年記念及び大妻多摩中等高等学校創立30周年記念の横看板の設置	-	
6	110周年記念事業：家政学部合同シンポジウム「家政学の魅力を考える」	236	家政学部
7	大妻学院110周年・大妻女子大学国文学会50周年記念イベント「日本文学—世界との窓」	210	文学部日本文学科
8	ホームカミング「世界に貢献できる女性をめざして—「英文学科」から「英語英文学科」へ—	215	文学部英文学科
9	コットンで世界と私たちのコミュニケーションと文化を考える「いとまきプロジェクト」	60	文学部コミュニケーション文化学科
10	社会情報学部の未来を考える（学部講演会・女子高校生青春文学賞・学部シンボルマーク制定）	550	社会情報学部
11	イベント「大妻学院110周年@多摩キャンパス—共生社会を目指して—	1,164	人間関係学部
12	大使館員リレートーク	420	比較文化学部
13	シンポジウム「女子大学の可能性と未来への展望を拓く」	50	比較文化学部
14	イベント「短大の現在・過去・未来」	300	短期大学部
15	記念刊行物『学校法人大妻学院創立110周年記念事業新たな「研究の大妻」ブランドを目指して：大妻女子大学人間生活文化研究所の研究と歴史』発行	-	人間生活文化研究所
16	特別展【学校法人大妻学院創立110周年記念事業「東南アジア狩猟採集民の生活と子どもの発育発達」】（8月4日まで開催）	開催中	
17	講演会「未来に開くきぼうの扉」（日本人宇宙飛行士 金井宣茂氏）	630	教職総合支援センター
18	110周年記念パイプオルガンコンサート（エイドリアン・パーティングトン氏）	550	地域連携推進センター
19	世界の茶文化紹介（世界全6種のお茶の飲み比べ大試飲会、古今銘茶試飲会、世界紅茶の飲み比べ大会）	163	国際センター
20	コタカが生きた時代展	399	総合情報センター・博物館
21	大妻学院110周年記念講演会「これからの心理職のあり方～公認心理師なら知っておくべき脳神経科学と行政法～」	500	心理相談センター
22	110周年記念冊子 110のメッセージ集 刊行事業	-	大妻中学校・高等学校
23	創立110周年及び大妻多摩高校創立30周年記念事業	1,968	大妻多摩中学校・高等学校
24	SGH Community・Otsuma Nakano English Presentation Contest「発表する英語力・議論する英語力の向上を目指して」	-	大妻中野中学校・高等学校
25	大妻グローバルリンクス「大妻110年：世界を視野に行動すること」事業	547	大妻嵐山中学校・高等学校
26	4中高合同式典 学校自慢の披露会	約1,000	四中中高合同
27	本学スクールキャラクター「おーたん」の着ぐるみ製作	-	事務局
28	『大妻限定世羅茶ティーバッグ』の制作及びそれに関わるイベントの開催について	1,500	

寄付者銘板を作成します



創立110周年記念事業寄付にご協力いただいた皆さまを末永く顕彰させていただくため、寄付者銘板を作成し、千代田キャンパス本館F棟グラウンドフロアに設置することとなりました。

完成は2019年7月の予定です。完成の暁にはぜひ本学にお越しください。（左は設置イメージ）

なお、匿名を希望されていた方を除いて、銘板への記載に関わる書類を5月にお送りしておりますのでご確認ください。

編集後記

募金ニュース創刊号いかがでしたでしょうか。これからも寄付にまつわるさまざまな話題や学院情報などを発信していきますので、引き続きよろしくお願いたします。

編集・発行／問い合わせ先

大妻学院財務センター 寄付・募金グループ

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

電話：03 (5275) 6407 <平日8:30～17:30>

FAX: 03 (5275) 6800

電子メール: kifu@mlotsuma.ac.jp

URL: <http://www.otsuma.jp/donation/>

